



平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社スタジオアリス

コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 山口 正信

TEL (06) 6343 - 2600

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績（平成23年1月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	20,713	7.7	927	-	888	-	△15	-
22年12月期第3四半期	19,230	3.8	△416	-	△492	-	△721	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年12月期第3四半期	△0	89	-	-
22年12月期第3四半期	△42	02	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
23年12月期第3四半期	21,023		12,393		57.3		701	65
22年12月期	21,660		12,691		57.5		725	55

(参考) 自己資本 23年12月期第3四半期 12,053百万円 22年12月期 12,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年12月期	-	-	0	00	-	-	25	00	25	00
23年12月期	-	-	0	00	-	-	-	-	-	-
23年12月期（予想）	-	-	-	-	-	-	25	00	25	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成23年12月期の連結業績予想（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	33,000	0.5	6,050	26.5	6,000	29.0	2,430	101.5	141	45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無

新規 ー社 除外 ー社

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

② ①以外の変更 : 有・無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期3Q	17,185,650株	22年12月期	17,185,650株
23年12月期3Q	6,258株	22年12月期	6,238株
23年12月期3Q	17,179,398株	22年12月期3Q	17,179,507株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更	9
(6) 表示方法の変更	9
(7) セグメント情報	10
(8) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、設備投資や個人消費など民間需要が持ち直し、景況感は緩やかに持ち直してきたものの、米景気の減速懸念の強まりや、欧州財政の不安再燃による株式市場の低迷や円高により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、主力であるこども写真事業において、競合他社と明確な差別化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みをおこなってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,713百万円（前年同期比7.7%の増加）、営業利益は927百万円（前年同四半期連結累計期間においては、416百万円の営業損失）、経常利益は888百万円（前年同四半期連結累計期間においては、492百万円の経常損失）、四半期純損失は15百万円（対前年同期706百万円の損失減少）となりました。

なお、当社グループの四半期業績の特徴としまして、収益の大半を占めるこども写真事業において、11月前後の七五三の時期に撮影が集中するため、第4四半期連結会計期間に売上高が偏重する傾向にあります。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (こども写真事業)

こども写真事業は、競合他社との差別化を図るため、本格的な七五三シーズンを前に、浅田真央選手のオリジナルブランドである「Mao Mao」ブランドで初となる、撮影用こども衣装（和装、洋装）を導入するとともに、例年行っております撮影用こども衣装（和装、洋装）の入替を行いました。また、新商品開発では、「マイフォトコレクションシンプル(ホワイト)」(デザインアルバム)やキーホルダー等を導入し、商品ラインナップの増強を図りました。

営業面においては、「早撮り七五三キャンペーン」、並びに、「七五三お出かけ着物レンタル」の件数獲得を図るため、折込チラシの枚数と実施回数を増やし、更に、9月から始まる「七五三撮影でアリスデビュー」キャンペーン（七五三撮影をされる新規のお客様対象）をアピールする新たなCMを制作し、前年同時期を大きく上回る本数のCMを全国で放映いたしました。

これらの取り組みにより、フランチャイズ店舗を含む全店の七五三撮影件数は、前年同期比で21.7%の増加となりました。

国内の出店状況は、移転10店舗を含み15店舗を出店し、次世代型への改装は69店舗実施いたしました。一方退店は、移転による10店舗を含み11店舗となりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館404店舗（直営店舗394店・フランチャイズ店舗10店）、ペット写真館1店舗、韓国の子会社におけるこども写真館4店舗、台湾の合弁会社におけるこども写真館3店舗、および、同合弁会社の運営による中国のこども写真館2店舗を含め、414店舗となっております。

以上の結果、こども写真事業の売上高は20,102百万円、セグメント利益は879百万円となりました。

## (衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、主力であるこども写真事業向けに、浅田真央選手の「Mao Mao」ブランド衣装（和装、洋装）や、年度入替用の衣装を生産いたしました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は1,866百万円、セグメント利益は214百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ636百万円減少し21,023百万円となりました。

流動資産は繰延税金資産の減少等により、前連結会計年度末と比べ921百万円減少の9,582百万円となりました。

固定資産は繰延税金資産の増加等により、前連結会計年度末と比べ284百万円増加の11,440百万円となりました。

## (負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ338百万円減少し、8,630百万円となりました。

流動負債は短期借入金の増加、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比べ790百万円減少の7,216百万円となりました。

固定負債は資産除去債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ452百万円増加の1,413百万円となりました。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ298百万円減少し12,393百万円となりました。

これは主に、当第3四半期連結累計期間純利益（損失）及び前年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,865百万円減少し、4,647百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、主に減価償却費1,868百万円、税金等調整前四半期純利益351百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べ463百万円減少し、15百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、主に写真スタジオの新規出店及び既存店の改装・設備追加等にかかる支出2,443百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べ15百万円増加し、2,298百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、主に短期借入金の増加額736百万円、セール・アンド・リースバックによる収入1,028百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べ1,992百万円減少し、322百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年12月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向や経営環境等を踏まえて見直しを行った結果、平成23年2月9日に公表した業績予想を修正しております。

詳細は平成23年8月9日付で別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

詳細は、添付資料P.9「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」及び「表示方法の変更」をご覧ください。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,042,104	6,907,339
受取手形及び売掛金	1,087,471	1,085,193
商品及び製品	140,371	95,176
仕掛品	26,415	56,002
原材料及び貯蔵品	699,987	592,322
繰延税金資産	344,068	494,195
その他	2,307,957	1,336,594
貸倒引当金	△65,460	△62,200
流動資産合計	9,582,917	10,504,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,781,355	7,464,710
減価償却累計額	△3,733,444	△3,754,096
建物及び構築物(純額)	4,047,910	3,710,614
機械装置及び運搬具	810,440	774,193
減価償却累計額	△625,230	△600,698
機械装置及び運搬具(純額)	185,210	173,495
工具、器具及び備品	3,525,944	3,611,938
減価償却累計額	△2,415,118	△2,897,494
工具、器具及び備品(純額)	1,110,826	714,444
土地	650,076	650,076
リース資産	1,985,091	2,449,566
減価償却累計額	△1,123,258	△1,166,329
リース資産(純額)	861,832	1,283,237
建設仮勘定	2,048	5,527
有形固定資産合計	6,857,904	6,537,395
無形固定資産		
のれん	73,975	92,545
その他	488,465	510,001
無形固定資産合計	562,440	602,547
投資その他の資産		
投資有価証券	35,191	57,418
長期貸付金	200,000	200,000
繰延税金資産	1,064,644	983,115
敷金及び保証金	2,837,140	2,891,907
その他	12,349	12,338
貸倒引当金	△128,900	△128,900
投資その他の資産合計	4,020,425	4,015,880
固定資産合計	11,440,770	11,155,823
資産合計	21,023,688	21,660,448

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	305,300	435,555
短期借入金	2,550,000	1,813,600
1年内返済予定の長期借入金	73,332	—
未払法人税等	78,086	1,433,842
リース債務	1,079,913	1,129,220
事業整理損失引当金	56,732	460,000
賞与引当金	3,141	9,288
未払費用	1,316,834	1,208,635
その他	1,753,236	1,516,924
流動負債合計	7,216,578	8,007,067
固定負債		
退職給付引当金	386,637	353,593
長期借入金	55,003	—
リース債務	449,916	521,850
資産除去債務	375,000	—
その他	147,413	86,175
固定負債合計	1,413,970	961,619
負債合計	8,630,549	8,968,687
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	8,228,728	8,631,841
自己株式	△9,222	△9,206
株主資本合計	12,160,905	12,564,034
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△133
為替換算調整勘定	△107,040	△99,429
評価・換算差額等合計	△107,040	△99,563
少数株主持分	339,274	227,290
純資産合計	12,393,139	12,691,761
負債純資産合計	21,023,688	21,660,448

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	19,230,769	20,713,193
売上原価	14,683,315	15,134,625
売上総利益	4,547,454	5,578,567
販売費及び一般管理費	4,963,630	4,650,854
営業利益又は営業損失(△)	△416,176	927,712
営業外収益		
受取利息	3,069	2,583
受取家賃	25,868	23,892
受取手数料	7,455	—
雑収入	17,555	36,690
営業外収益合計	53,948	63,166
営業外費用		
支払利息	43,858	30,204
賃貸費用	8,940	—
店舗解約損	26,598	46,190
為替差損	24,909	11,374
貸倒引当金繰入額	12,000	—
雑損失	13,536	14,475
営業外費用合計	129,842	102,245
経常利益又は経常損失(△)	△492,070	888,633
特別利益		
固定資産売却益	—	10,490
特別利益合計	—	10,490
特別損失		
固定資産売却損	—	39,652
固定資産廃棄損	173,323	157,351
減損損失	214,378	36,538
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	249,231
災害による損失	—	65,141
特別損失合計	387,701	547,915
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△879,772	351,209
法人税、住民税及び事業税	423,548	242,233
法人税等調整額	△635,869	44,183
法人税等合計	△212,320	286,417
少数株主損益調整前四半期純利益	—	64,792
少数株主利益	54,479	80,099
四半期純損失(△)	△721,931	△15,307



(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	7,446,640	7,871,219
売上原価	5,278,839	5,556,018
売上総利益	2,167,800	2,315,201
販売費及び一般管理費	1,567,712	1,712,595
営業利益	600,088	602,605
営業外収益		
受取利息	999	883
受取家賃	8,294	7,663
受取手数料	641	—
貸倒引当金戻入額	—	5,000
雑収入	5,231	5,469
営業外収益合計	15,167	19,016
営業外費用		
支払利息	16,916	10,811
賃貸費用	2,968	—
店舗解約損	4,610	32,402
為替差損	14,513	5,231
貸倒引当金繰入額	12,000	—
雑損失	8,734	1,708
営業外費用合計	59,743	50,154
経常利益	555,511	571,467
特別損失		
固定資産売却損	—	39,652
固定資産廃棄損	27,527	35,953
減損損失	19,124	11,565
特別損失合計	46,651	87,171
税金等調整前四半期純利益	508,859	484,295
法人税、住民税及び事業税	204,965	117,178
法人税等調整額	43,873	146,682
法人税等合計	248,838	263,861
少数株主損益調整前四半期純利益	—	220,433
少数株主利益	33,126	22,243
四半期純利益	226,895	198,190

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△879,772	351,209
減価償却費	1,690,181	1,868,223
のれん償却額	70,633	18,570
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26,900	2,990
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,231	△5,950
退職給付引当金の増減額(△は減少)	39,674	33,043
受取利息	△3,069	△2,583
支払利息	43,858	30,204
為替差損益(△は益)	8,255	△678
有形固定資産廃棄損	145,486	156,753
減損損失	214,378	36,538
売上債権の増減額(△は増加)	△347,867	22,861
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,653	△139,485
仕入債務の増減額(△は減少)	△117,981	△116,146
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	△403,267
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	249,231
未払消費税等の増減額(△は減少)	△262,610	△253,662
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△22,209	△2,340
その他の流動負債の増減額(△は減少)	596,248	521,039
その他	△104,465	93,771
小計	1,096,061	2,460,321
利息の受取額	1,145	629
利息の支払額	△41,484	△30,204
法人税等の支払額	△1,534,905	△2,381,560
災害損失の支払額	—	△65,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	△479,184	△15,954
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,007,419	△2,226,316
無形固定資産の取得による支出	△119,596	△110,117
子会社株式の取得による支出	△35,000	—
差入保証金の差入による支出	△182,164	△106,759
差入保証金の回収による収入	68,308	142,693
その他	△6,156	2,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,282,028	△2,298,020
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,450,000	736,400
長期借入金の返済による支出	—	△54,999
セール・アンド・リースバックによる収入	997,958	1,028,801
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△703,713	△958,530
自己株式の取得による支出	△183	△16
配当金の支払額	△429,491	△429,485
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,314,569	322,169
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,987	261
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△459,630	△1,991,543
現金及び現金同等物の期首残高	4,096,920	6,513,157
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	126,309
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,637,290	4,647,922

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更 第1四半期連結会計期間より、株式会社豊匠は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 3社</p>
2. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>資産除去債務に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。</p> <p>これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は28,198千円減少し、税金等調整前四半期純利益は261,335千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は359,689千円であります。</p>

## (6) 表示方法の変更

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)
(四半期連結損益計算書)	
1. 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。	
2. 前第3四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「受取手数料」は、営業外収益の総額の100分の20以下となったため、当第3四半期連結累計期間より「雑収入」に含めて表示することに変更いたしました。なお、当第3四半期連結累計期間の営業外収益の「雑収入」に含まれる「受取手数料」は、1,757千円であります。	
3. 前第3四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「賃貸費用」は、営業外費用の総額の100分の20以下となったため、当第3四半期連結累計期間より「雑損失」に含めて表示することに変更いたしました。なお、当第3四半期連結累計期間の営業外費用の「雑損失」に含まれる「賃貸費用」は、6,335千円であります。	

## (7) セグメント情報

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはサービス及び製品別のセグメントから構成されており、スタジオ写真の撮影・制作・加工、ディスプレイ制作、印刷等を行う「こども写真事業」、撮影用衣装等の制作・販売等を行う「衣装製造卸売事業」の2つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成23年1月1日 至平成23年9月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	こども写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,102,200	610,992	20,713,193	—	20,713,193
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	1,255,787	1,255,787	△1,255,787	—
計	20,102,200	1,866,780	21,968,980	△1,255,787	20,713,193
セグメント利益	879,921	214,101	1,094,023	△166,310	927,712

(注) 1. セグメント利益調整額△166,310千円には、セグメント間取引に関わる調整額11,873千円、固定資産の調整額等△16,704千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△161,479千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## (8) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。